

秋 田 県

秋 田 県 退 職 校 長 会

結成 昭和 44 年 10 月 25 日

本会は、昭和44年に全県の退職校長の個人加入により、会員数79名で結成された。その5年後の昭和49年に、各郡市退職校長会の連合体として組織替えを実施し、7郡市でスタートした。昭和54年までに新たに3郡市が加盟したが、令和2年に1郡市が解散し現在は9郡市の連合体として活動している。令和元年には結成50周年を迎え、記念式典を開催し記念誌を発行した。県会報は100号を超え、秋季研修大会も44回を数えている。残念ながら令和2年からのコロナ禍で活動が制限されたが、昨年度からは県・郡市ともに通常の活動に戻っている。特に結成50周年の節目を迎えた郡市の記念式典では、会員同士の結束の強さと熱量を強く感じた。今日の教育を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、それを踏まえた現職校長や学校との交流や、大量退職や定年延長に対応した組織づくり、効率的な会の運営など新たに創意工夫を加えながら歩み始めている。

本会の目標の一つに、学校応援団としての役割がある。秋田県の児童生徒の学力は全国トップレベルを維持している。それを支えているのは、秋田型探究学習を軸とした教師の授業力の高さ、家庭学習の充実、規則正しい生活習慣などが挙げられるが、それをまさに現場で実践してきたのは退職校長である。平成28年より現職校長と連携して4年間に渡って行った調査研究では、現在でもこれらの実践が生かされ脈々と受け継がれていることを再検証することができた。その成果は、結成50周年記念誌『秋田の教育あすを見つめて～「あきたブランド」創造の教師たち～』にまとめられた。またどの郡市でも、研修会や懇親会の場での



現職校長とのグループ協議（秋田市）

現職校長との交流を大切にしている。そのために、常に最新の教育情勢の変化にアンテナを張りその把握に努めている。令和5年度の秋季研修大会では「部活動の地域移行の現状と課題」をテーマに講演会を開催した。また昨年度の研修大会では、県教育長に挨拶をいただき、教育現場が抱える喫緊の課題と施策について知ることができた。現職との交流会では、直接現場の声を聞き、これまでの会員の知見と経験を生かした励ましと助言に努めている。